

第2次文化振興基本計画（素案）に関するパブリックコメントについて

1 パブリックコメントの実施状況

- (1) 意見の募集期間 平成 28 年 2 月 12 日 ～ 3 月 8 日 まで
- (2) 意見の応募者数 7 名 (男性 4 人, 女性 3 人)
意見数 15 件
- (3) 提出方法の内訳

	郵送	ファクシミリ	Eメール	持参	電話	計
人数	2	1	3	1		7

2 意見の処理状況

区分	処理区分	数
A	意見の趣旨等を反映し、基本計画に盛り込むもの	
B	意見の趣旨等は、基本計画に盛り込み済みと考えるもの	6
C	基本計画の参考とするもの	3
D	基本計画に盛り込まないもの	
E	その他、要望・意見等	6
	計	15

意見番号	意見の概要	処理区分	意見に対する市の考え方
1	大見えを切る必要のない、そこはかたない魅力が宇都宮にはあります。大谷にはいつでもどこからでも誰もが手を合わせる事ができる磨崖仏が御座します。シルクロードの贈り物です、というのは、世界三大旅行記、玄奘三蔵大唐西域記、645年長安に帰国、日本大化改新の年です。その孫兼子が鑑真和上・三壇院・下野薬師寺・最高の文化・最高の仏教技術者集団が居た訳です。円仁入唐求法巡礼記下野の人東方見聞録、マルコポーロ、元フビライに仕官、1274年元寇がおこります。鎌倉軍大将宇都宮貞綱16歳清厳寺、鉄塔婆母の13回忌に建立、一向寺、汗かき阿弥陀、善願寺、露座の大仏、六道の辻、戊辰の墓、宇都宮ヒトの心、うつのみやびとの豊かさ、宇都宮の誇りです。	B	賛同の意見として承ります。 今回の計画策定にあたっては、第2章の5に「宇都宮の文化の特色と歩み」を盛り込み、宇都宮の歴史のを知っていただく契機としたほか、「文化遺産を活用した宇都宮活性化プロジェクト」を位置づけしたところであり、この中で市民の誇りとなる文化資源の掘り起しと情報発信の充実に努めてまいります。
2	上神主・茂原官衙遺跡の復元整備を、上三川町と連携を強化し、実現に向け、検討を急ぎお願いします。	B	賛同の意見として承ります。 「基本方針Ⅲ 宇都宮文化の創造・継承の推進」の中に「上神主・茂原官衙遺跡」などの「史跡等整備の推進」を盛り込んでおり、今後も、上三川町と連携を図りながら、事業を進めてまいります。
3	市立博物館がないというのは、大変さびしいです。旧石器・縄文・弥生・古墳・古代・中世といにしえの出土品をひとつの館内で一緒に見学できる施設を早急に建てただけよう熱望します。小中学生の学びの場、郷土への愛着もわくと思います。	B	賛同の意見として承ります。 本市では、これまで「遺跡の広場資料館」や「とびやま歴史体験館」などサテライト的にガイダンス施設を整備してまいりましたが、今回の計画の中で設定した「文化遺産を活用した宇都宮活性化プロジェクト」を通し、これまで整備をしてきた施設を結び付ける本市の歴史文化に係る情報を幅広く発信する中核機能の形成に向け、検討を進めてまいります。
4	釜川の歴史や橋の由来など案内看板を設置し、多くの市民や来街者に向けPRをはかり、釜川散歩に楽しみを加えるなど、釜川文化を知らしめることも大切と考えます。	C	本市を流れる釜川は、弁天沼を源に中心市街地を流れ、これまで豪雨による氾濫を繰り返し、日本で初めて河床を2層にし、上層に遊歩道等を造るなどの工事を行ってまいりました。いただきましたご意見につきましては、今後、本市の歴史・文化の周知啓発を進める中で参考にさせていただきます。

5	<p>城址公園の散歩も楽しいものであり、清明館を拡大し、全国的に有名な釣り天井のジオラマや、宇都宮出身、または関係の深い文庫作品の展示などで観光に力を入れ、より多くの方が利用できる施設レストランなども併設し、多くの市民や来街者がより文化に親しめることが必要かと考えます。</p>	E	<p>城址公園の活用につきましては、現在も城址まつりや清明館での企画展等を実施しておりますが、いただきましたご意見も参考にしながら、さらに多くの人々に来訪していただけるよう、その活用方法を工夫してまいります。</p>
6	<p>ジュニア芸術祭の市役所での授与式は、時間に追われどうしても味気なく感じます。集合写真を撮ること、選考委員からメッセージをいただくこと、本人の感想を作品集に載せる等の試みを提案します。また、受賞者はぜひ新聞に名前が載るとよいです。家族が喜び、本人の意欲が増します。選考に思うことですが、テーマがあるとよいと思います。</p> <p>ジュニア文芸で文芸作品に興味を抱いた子ども達が、さらに学ぶ場がないのは残念です。夏休みなどに元教師による文芸講座等を図書館で行うと、関心が増えるのではないのでしょうか。</p>	C	<p>いただいたご意見は、「うつのみやジュニア芸術祭」の実行委員会の中でも共有させていただきながら、子どもたちにとってより良い取り組みとなりますよう参考とさせていただきます。</p>
7	<p>大谷と文化ということで、ご参考になるかと、お知らせします。</p> <p>今から33年前に、今回の計画と同様のことを民間の方で実行した例があります。詳しくは、その方のブログをご覧ください、と思います。</p> <p>ブログ名「ギャラリー ときの忘れもの」 ※大谷の巨大地下空間でのアンディウォーホール展の開催について掲載。</p>	E	<p>大谷における文化事業の取組につきましては、提供いただいた情報なども参考にしながら、効果的な文化振興に取り組んでまいります。</p>
8	<p>文化とは五感を働かせ、自身の足で歩き他人との関わりから見つけ出し育てるものである。</p> <p>日常性や身の回りにある事(=環境)で、自然に時間をかけ身に付いていくものだと思う。</p> <p>継承や教育は非常に重要だが、生産性や効率性から与えられたものやお膳立てされた機会は、文化的感覚を後退させる要因になり得ると思うので、一過性の流行の方法に頼らず継いでいけるようになってほしい。</p>	E	<p>本市の文化の振興は、ご指摘いただいたとおり、市民のみなさまの自主的・主体的な活動があってはじめて実現されるものであると認識しており、そうした環境づくりに努めてまいります。</p>
9	<ul style="list-style-type: none"> ・他人と空間を共有するのは、社会性やコミュニケーション力を強化する。まわりに目がいく事により車では見えていなかった物にも気づく。 乗車中には頭がリラックスしインスピレーションが働き、本を読む等感性を養う機会が生まれる。 ・「誰にでも」「気軽に」文化施設に訪れたり史跡・名所めぐりなどが出来る。(文化の日常性を高める) ・史跡・名所、市現代文化の発信地は主に中心市街地に集約しており、今後もそこを宇都宮文化の拠点として機能させ、波及、認知されていくべき。 ・世界の文化的都市(NY、ロンドン、パリ、東京等)をみても集約された環境はその文化的地域性を確立していく。 	E	<p>ご指摘のとおり、市民が文化を身近に感じ、気軽に活動できる環境づくりの推進は、計画策定において重視した点であり、まちなかにおける文化情報の交流拠点づくりも課題として捉えたところでもあります。いただきましたご意見も参考として、文化振興に努めてまいります。</p>

<p>10</p>	<p>・文化とは「民」から創られ、自然に広がり波及効果も大きいという一面もあると思う。「行政だからできること」と「市民が発信/実行していくこと」は分け、市の指導・手助けのもと、私たちに出来る事はどんどん協力させてほしい。</p> <p>・(特に若い世代に多いかもしれないが)発信される情報やイベントを待つのではなく、自身で動いて体験できるように促す。市民を味方にする＝継承を容易に。与えられたものよりも身に付く、愛着度が深まる。</p> <p>・地元学生や公募市民に行ってもらおう。(現状も行っているようですが一部のの人たちにしかチャンスがないように思います)</p> <p>例えば、</p> <ul style="list-style-type: none"> - シルバー世代から戦前戦後の宇都宮の話や資料を集める活動を。情報提供する側の市民も広く公募する。 - 市の歴史ドラマ・演劇(宇都宮城やつり天井など)を作り市内各地で講演。 - 仲見世や昭和のバンパ、壊された名所(例:旧商工会議所、大通りの旧第一勸銀)などを再現したバーチャル映像を製作依頼し当時の賑わいを若い世代に体験してもらおう。＝過去を知り、宇都宮らしい将来のビジョンへとつなげる。 - 市民による街歩き観光ガイド 	<p>E</p>	<p>ご指摘のとおり、本計画を推進するためには、「第7章 計画を推進するために」でも記載したように、市民、団体、芸術家、教育・研究機関、企業、行政などの協働のもと、文化振興活動に取り組むことが重要でありますことから、各活動団体が連携しやすい環境づくりや市民が活動に参加しやすい工夫をまいります。</p>
<p>11</p>	<p>商業美術は身の回りにある、プロによって創作されたもので、「芸術」には抵抗があったとしても、生活を円滑にするための美術であるため</p> <p>多くの方が身近に感じるものです。</p> <p>例：グラフィックデザイン、商用写真、工業デザイン、建築、ファッション、など幅広い。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市内の企業の製品・サービスをデザイン/製作の面から焦点を当て展示、紹介。 <p>例：市内出身の作家は？ いつも行くあのお店ロゴは誰がデザインした？ ミヤリーの生みの親は？ ブリッツェンのユニホームは誰がデザインした？ 宮祭りのポスターの移り変わり・・・などなど。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ミュージアムでは、短時間のランチタイムレクチャーや金曜夜の無料ミニコンサート等を行い、「身近な美術」として多くの人に親しんでもらう。 ・文化的な職業に就く子供へのきっかけや制作者への賞賛、継承として。 ・中心地にはアート系専門学校も多いので学べる環境となる。 ・ビジネスにもデザインのセンスは必要(プレゼン資料など自分でつくる人も増えてきたなど) 	<p>B</p>	<p>本市の宇都宮美術館は、ご指摘のグラフィックデザイン等も含めた「プロダクト・デザイン」の収集等も行っており、「デザイン」についても広く調査研究を行っています。</p> <p>本計画においては、基本施策1：文化を身近に感じ活動できる環境づくりの推進の中の「文化会館・美術館での鑑賞機会の充実」の施策の中で、市民のみならずが参加しやすい取組を推進してまいります。</p>

12	<p>・地元の意識・愛着を深める大切な行事。 (=市外や海外に行ってもそれについて誇りを持って語る事ができる市民となる)</p> <p>・若者無くしては継承は成り立たない。祭りはカッコいい、憧れの意識をもたせる。</p> <p>・各自治体間での参加者の貸し借り制度や、公募制度等を導入し、自治体を超えて協力し合えるようにし、地域の祭りを継承していく。オープンにし、市民みんなで支える。</p> <p>・二荒山の天王祭の見せ場は階段の駆け上がりですが、二荒山だからこそできる迫力の伝統行事は市を上げてもっとPRしてもよいのではないのでしょうか。</p>	C	<p>地域に誇りや愛着をもつことは大切でありますことから、今回の第2次文化振興基本計画においても策定の目的としているところであります。</p> <p>いただきましたご意見につきましては、今後、伝統文化を継承していく上で、基本方針Ⅱの基本施策2「いきいきと文化活動に取り組む人材育成の推進」の参考とさせていただきます。</p>
13	<p>・二荒山～みはし通り～城址公園の道を参道のようにし、つい歩きたくなる雰囲気。これから建てる建物はあえてレトロ調外観に統一し、川越市の小江戸のような情緒を。</p> <p>・六道や宇女高付近も車がスムーズに走れない工夫にし歴史的情緒を楽しんでもらう。</p>	E	<p>古いまちなみや文化財を活かした情緒ある景観づくりは大切と考えているところであり、いただきましたご意見につきましては、幅広い視点からの検討が必要ですが、参考とさせていただきます、景観・まちなみの評価・創出の促進に努めてまいります。</p>
14	<p>文化は、人と自然の共生の中で育まれるものが多くあり、「生物多様性地域戦略」やその関連事業ともうまく連動させた計画づくりが進みますよう、討論の場には、こういった担当の方も交えていただくことをご提案します。</p>	B	<p>賛同の意見として承ります。</p> <p>本計画では、新たな視点として「多様性豊かな自然環境の保全」を盛り込んだほか、計画の検討に際しましては、「生物多様性地域戦略」と連携していくため、当該分野の担当部署を策定委員会の構成員としたところです。</p>
15	<p>郷土文化は歴史的には、地域の産業、農の営みの中で育まれたものも多くあります。そして、それらの多くは、時代とともに、後継者の不足などを理由に失われようとしています。</p> <p>伝統的文化、技能、地域の祭りやそれに関連する神楽などの芸能もこれにあたります。これらは、地域の人たちの力だけでは、継承が困難なものもあります(例：財政的にそれらを立て直すだけの体力がない、手法をしらないなど)。</p> <p>私の暮らす平石地区(柳田町)の諏訪神社のまつりも、このようにして、地域の人たちの必死の努力によってかろうじて継承されています。このような活動にも目を向け、支えることは、地域の力や誇りを高めることにも寄与しますので、ぜひ積極的にご検討いただければ幸いです。</p>	B	<p>賛同の意見として承ります。</p> <p>地域に根付く文化の継承とそれを担う後継者の育成は重要な課題であると認識し、「基本方針Ⅱ文化をつなぐ人材育成の推進」に位置付けたところであり、また、市民が誇りをもって末永く守り伝えることができる仕組みづくりにつきましても施策の方向性に盛り込んでおり、今後、幅広く市民の皆さまのご意見や活動状況を捉えていく中で検討を進めてまいります。</p>